

2021年10月26日
SOMPOホールディングス株式会社
損害保険ジャパン株式会社

世界最大級のマルチチャネルコマースプラットフォームShopifyにおいて EC事業を支援する保険の提供を開始

SOMPOホールディングス株式会社（グループCEO執行役社長：櫻田 謙悟、以下「SOMPOホールディングス」）および損害保険ジャパン株式会社（取締役社長：西澤 敬二、以下「損保ジャパン」）は、事業者がEC（電子商取引）事業を営むうえで必要な機能を提供する世界最大級のマルチチャネルコマースプラットフォームサービスであるShopify（ショッピングファイ）において、EC事業を支援するための保険を開発し、2021年11月にShopifyアプリとして提供を開始します。

1. 背景と目的

スマートフォンの普及などを背景に、ネット通販やオンラインサービス等の日本国内のECの市場規模は近年拡大を続けています。また、新型コロナウイルス感染症の拡大などを背景とした各種取引の非対面への転換の流れを受け、事業者の活動にもオンラインツールの活用が求められています。このような消費者行動および事業環境の変化に伴い、事業者のECによる非対面の商品販売の意欲も高まっています。しかし、中小企業においては、新たにEC事業を始めるといった動きは、十分には進んでいません。

損保ジャパンは、これからEC事業を始めるとはすでにEC事業を運営している事業者のEC事業特有の不安に対応する保険を多くの事業者が利用しているShopifyを通して提供することで、事業者のビジネスモデルの転換を後押しし、安心・安全な事業環境を実現します。

2. 提供する保険の概要

EC事業を営む事業者が特に不安と感じている代金回収不能リスクと購入者から過度なクレームを受けるリスクに備える補償を、Shopifyでインストールできるアプリ※を介して提供します。

（1）チャージバック補償

Shopifyを利用してオンラインストアを運営している事業者が、オンラインの取引において、購入者のクレジットカードの不正利用により販売した商品の代金を領収できない場合に被る損害を補償します。

（2）トラブル弁護士費用補償

Shopifyを利用してオンラインストアを運営している事業者が、オンラインの取引において、購入者とのトラブルにより、過度なクレーム等を受けた場合に弁護士へ相談する費用等を補償します。

本アプリでは、Shopifyから保険の契約時に必要な情報をAPIで自動取得することで、保険加入時に事業者による入力を不要とするなどの簡素化を実現しました。また、契約管理や事故のご連絡等も本アプリ内で完結することが可能です。

※ SOMPOホールディングスデジタル戦略部のアジャイル内製開発チーム「SOMPO Sprintチーム」の支援により構築しました。

3. 今後の展開

SOMPOグループの「”安心・安全・健康のテーマパーク”により、あらゆる人が自分らしい人生を健康で豊かに楽しむことのできる社会を実現する」というパーパス実現に向けて、SOMPOホールディングスおよび損保ジャパンは、常にお客さまの目線で変わりゆくニーズに応え、他に類を見ない新たなお客さま体験価値を創造・提供していきます。

【参考】Shopifyについて

Shopify（ショッピングファイ）は、コマースに不可欠なインターネットインフラを提供するトップクラスのプロバイダーであり、あらゆる規模の小売ビジネスの立ち上げ、成長、マーケティング、運営を一括で管理できる信頼性の高いソリューションを提供しています。Shopifyは、信頼性を重視した設計のプラットフォームとサービスによって、すべての人のためにコマースをより良くし、あらゆる場所にいる消費者に優れたショッピング体験を提供しています。カナダのオタワで設立されたShopifyは、個人事業主から中小企業、大手企業など、現在まで175カ国以上で170万以上の事業者（マーチャント）をサポートしており、国内ではKINTO（キントー）、ORION BEER（オリオンビール）、STUDIO R330（ステュディオ アール スリーサーティー）、sakana bacca（サカナバッカ）、Elmers Green（エルマーズグリーン）、Tabio（タビオ）、海外ではAllbirds（オールバーズ）、Staples（ステープルズ）など、多くのブランドに利用されています。詳細については、www.shopify.jp をご覧ください。

以上